

地域で働く木材市場の仕事を学ぶ

◎日吉小学校森林教室



2月21日、日吉小学校で今年度5回目となる森林教室が行われました。

日吉農林公社の山内翔平さんを講師に迎え、小学3、4年生8人が「木材市場の競り」について学びました。日吉原木市場に行き林業について学ぶ予定としていましたが、新型コロナウイルスの感染防止のため中止に。その代わりとして、山内さんが、日吉原木市場で撮影してきた作業現場や働く人のインタビューをまとめた動画を作成し、児童たちに動画を通して原木市場の役割を分かりやすく伝えていました。

長い年月を経て母校のために活用

◎北宇和高校高校寮建築に向けた伐採



2月上旬、奈良にある北宇和高校の学校林で高校寮の建築に使われるヒノキの伐採が行われました。

町では、高校魅力化プロジェクトの一環として高校寮の建築を予定しています。学校のために使用されることから愛媛県所有の学校林の無償譲渡が決まり、日吉農林公社の職員により477本のヒノキが切り出されました。この木は昭和25年に植栽されたヒノキ5,148本の一部で、当時の生徒らが下刈り、枝打ちなどを行ってきました。今後切り出された木は製材され、愛媛銀行の隣に建築予定の高校寮に生まれ変わる予定です。

豊かな心、思いやりの心を育む

◎近永小学校人権の花運動



2月25日、近永小学校4、5、6年生が近永地区の社会福祉施設や「まもるくんの家」として子どもたちの登下校などを見守る地域住民の方などに人権の花を贈りました。

人権の花運動は、子どもたちが協力して花を育てる中で生命の尊さを実感し、豊かな心、優しさ、思いやりの心を育むことを目的として毎年実施しています。贈った花は、人権擁護委員とともに11月に植え、大切に育ててきたパンジー。児童たちは笑顔で、地域住民に花を手渡ししていました。

大正期建築の民家を未来に繋ぐ

◎明星草庵かやぶき屋根ふき替え作業



2月22日、下鍵山にある明星草庵のかやぶき屋根のふき替え作業が終わりました。

作業は12月20日から約2ヵ月かけて行われ、川上義範さんを中心に高知県の職人が担いました。平成15年以来となる全面のふき替え作業。新しい屋根には、高知県の町と栃木県のかやが使用されています。

明星草庵では、日吉盆栽会が座敷雛の展示を行っています。4月3日までの展示となっていますので、座敷雛とともにふき替えた屋根もぜひご覧ください。